

【活動事例⑧】

公表日:平成 24 年 12 月 13 日

<p>プロジェクト名</p>	<p>南三陸町緊急支援のための 炊き出し・物資配布・子ども支援・情報紙発行プロジェクト 南三陸町復興支援のための 味噌加工場、直売所建設プロジェクト</p>
<p>活動団体名 活動者名</p>	<p>公益社団法人 アジア協会アジア友の会</p>
<p>活動概要</p>	<p>本会では、震災直後から、最も被害の大きかった宮城県の南三陸町歌津地区において、支援を開始した。刻々と変わる現地の状況に応じた形で、現地の状況をきめ細やかに調査をし、必要とされる活動として、炊き出し、生活物資の配布、子ども対象のプログラムなどを連日行なってきた。</p> <p>5 月になり、プロパンガスの復旧や水の配給により、各家庭や避難所で食事を作ることが可能になってきた。しかし、未だ避難所や被災者を抱える世帯では、経済的、精神的な状況を鑑みても、自立をして、生計を立てていくのが非常に困難な状況にある。また、情報が避難所以外ではかなり滞っていることが判明した。そのため、避難所と被災者を抱える集落において、現地のニーズに即した形で、被災地での必要とされる生活物資の配布、情報の収集と情報紙の発行・配布を行った。</p> <p>9 月になっても、職場や仕事、自宅作業場、商業施設などを失ったままの状態が続き、収入源確保も急がれていた。収入源確保、生活再建に向かうための経済活動、生産活動が実践できる場づくりに対する支援が必要とされていた。</p> <p>加工場設営は、売るものを作り出す場所の創設となり、直売所設営はそ</p>

	<p>の売る場所の創設となる。売る仕組みである情報紙発行、組織づくり・人材育成と同時並行的に取り組むことで販売ルートを確保し、農業、漁業に従事している生産者の収入源を生み出す。</p> <p>こういった現地のニーズから、2012年4月に農産物加工場「石泉ふれあい味噌工房」を、2012年10月には産地直売所「南三陸直売所みなさん館」を建設完成し、運営管理体制を確保する。</p> <p>加工場と直売所の設営により、地域全体の生産活動、経済活動を活発化させる仕組みを生み出し、より人間らしい住民の暮らし＝生活の再建を実現させる。生業支援としての役割だけでなく、施設を軸にして、地域住民が足を運び、交流・対話することで新たなつながりを創り、コミュニティの再構築への役割の一助とする。</p>
活動実績	<p>炊き出し 24400食分（2011年3月20日～5月21日）提供</p> <p>生活物資配布 食糧 7200食分、水 3740リットル、衣料 2659着、毛布・タオル 2402枚、日常生活用品、燃料その他多数</p> <p>仮設住宅スターターセット（調理器具、ゴミ箱、調味料、洗剤等）700世帯配布</p> <p>仮設住宅冬季対応セット（電気毛布、布団乾燥機、ホットカーペット）700世帯配布</p> <p>子ども支援プログラム 対象のべ 640人</p> <p>地域情報紙「桜通信」発行 隔週 700部×39回発行＝27,300部 被災地 28ヶ所に掲示・配布</p> <p>地元商店会復興支援 商工会の再立ち上げを支援し、配布用の支援物資の</p>

	<p>買い付けを地元商店会通じて行うようにした</p> <p>味噌加工場「石泉ふれあい味噌工房」建設、設営（プレハブ平屋 66m² 農産物加工スペース・味噌・漬物加工機器）</p> <p>直売所「南三陸直売所みなさん館」（木造平屋 169m² 直売・飲食・工房・厨房スペース）建設、設営</p>
活動地域	宮城県本吉郡南三陸町歌津
活動期間	2011年3月11日～2013年3月31日（予定）
活動分類	<p>1. 活動主体・場所の分類：①</p> <p>2. 活動内容別の分類：ア・イ・エ・オ・キ</p>
活動を撮影した写真	 <p>炊き出しの様子</p>



石泉ふれあい味噌工房での味噌づくりの様子



南三陸直売所みなさん館の前で 町民運営メンバー

URL

www.jafs.or.jp

問い 所属

公益社団法人 アジア協会アジア友の会 プロジェクトコーディネーター

合わ 担当者

松井聡子

せ先	電話番号	06-6444-0587
	メールアドレス	satoko.m_atmark_jafs.or.jp

※ 迷惑メール対策として、問い合わせ先メールアドレスの「@」を「_atmark_」に変更しております。